



きたほ Hot Line 2019.2

発行部数 3,000部

●平成31年2月号 第523号
●平成31年2月1日発行 ●毎月1日発行



【活動報告】 3ページ

県知事・仙台市長などへ陳情活動を実施

北東支部 小百合園へ“クリスマスプレゼント!!”

【青年部会】 3ページ

『臨時総会』『大忘年会』開催される!!

【女性部会】 3ページ

『租税教室指導者研修会』を開催

小学生「第11回税に関する絵はがきコンクール」
応募を締め切りました!

【税務署からのお知らせ】 4ページ

大法人についてe-Taxが
義務化されます!!

【ビジネスニュース】 5ページ

生み出す力

【特集記事】 7ページ

「お客様から応援される会社」を目指そう

一般社団法人人間力大学校理事長・公認会計士 天明 茂

【活動報告 他】 8ページ

インターネットセミナーのご案内

国税庁ホームページ

「確定申告特集ページ」活用のご案内



深松 努さん

(株)深松組(建設業)

行事予定はホームページをご覧ください。

<http://www.kitaho.or.jp>

仙台北法人会

検索

きたほHotLineは皆様の会費によって制作されています。

宝人 喜多

今月の

地域にとって本当に必要とされる企業を目指します

今年もいよいよ残りわずかとなつてきた12月上旬、仙台市青葉区北山の株式会社深松組様を訪ね、代表取締役の深松努さんにお話を伺いました。

富山県から仙台へ

私は富山県下新川郡朝日町で昭和40年に生まれました。3才まで朝日町で過ごし、その後新潟で数年間過ごし、私が6才の時に仙台にきました。それから小・中・高校まで仙台の学校に通い、高校卒業後に日本大学理工学部土木工学科に進学しました。大学卒業後は東京の前田建設工業さんで5年間お世話になりました。平成4年に深松組に入社し、営業を経験し、平成20年に代表取締役社長に就任いたしました。

土木工事から建築工事へ、そして不動産賃貸業

深松組は、私の祖父が富山県下新川郡朝日町で水力発電所建設の施工を主な事業として、大正14年に深松班として個人経営で創業いたしました。昭和28年に個人経営から有限会社組織変更しました。その期に、水力発電所建設の発注元である東北電力さんからの提案もあり、東北電力さんの本社がある仙台市に移転し、翌年の昭和29年に株式会社組織変更し現在に至っております。仙台に来てからもしばらくは水力発電所の建設や関連施設の建設・改修・修繕工事が主だったようですが、水力発電から火力発電に移行が進み、

水力発電所関係の仕事が少なくなってきました。このままでは会社を維持していくのは困難になると考え、土木工事だけではなく建築工事も始めるようになり、住宅メーカーさんの建売住宅の建築などを請け負うようになりました。

そして昭和47年より安定した収益を上げるため不動産賃貸業を開始し、平成に入ってから賃貸マンションの拡充に努め、現在では経営の柱となっております。また当社は、地球環境保護の観点から、再生可能エネルギーを有効に活用する取り組みとして、保有する遊休地を利用した太陽光発電事業を平成26年から開始いたしました。

東日本大震災の教訓を伝える

東日本大震災の際は、当社の全従業員に人的被害はなく、物的被害につきましても、本社事務所耐震補強・大規模修繕等の建物の修繕は必要になりましたが当社全体に大きな影響を及ぼすものはありませんでした。震災当時私は、仙台建設業協会の副会長を務めており、震災発生直後から仙台市各区各課の要請を受けて、被災現場の責任者として緊急対応業務に当たることとなり、約一年間は自社の業務がほぼ出来ませんでした。その分、社員の皆が頑張ってくれ乗り越えることが出来ました。今後はいつ起こりうるかわからない大事故や自然災害に対して、迅速に対応できる体制作りが必要だと思っております。災害後、被災地では作業員の人手不足が予想されます。ひとつの試みとして、私が会長を務めている仙台市の仙台建設業協会と浜松市の浜松建設業協会との

間で、災害時の相互援助の協定を締結しました。今後想定される南海トラフ地震や、再び発生すると思われる宮城県沖地震に備え、両団体が相互に協力することにしました。地域をまたいで政令市の建設業協会同士が協定を結ぶのは全国初です。また、人材確保の観点も踏まえて、海外との交流の重要性も感じています。ミャンマーとの縁をいただき、現地で賃貸マンションの建設を進めています。日本の建築技術を現地スタッフが熱心に学んでくれているので、将来的に何かあったときに、浜松市との相互援助協定のようにお互いが助け合える関係を築き上げたいと思っております。

私は、震災から得たさまざまな「教訓」を全国の同業者や自治体などを中心に、延べ190回を超える講演活動を通じて伝えて続けてきました。日本中・世界中からご支援をいただいた被災地の企業として、また、自身もいち被災者として経験と教訓を伝えることが恩返しであり責務だと思っております。「感謝報恩」震災以降の私のテーマであり、私の講演が少しでも皆様の役に立てばと思ひ、お話をさせて頂いております。

夢が叶った沖縄での仕事

仕事に興味のないような私ですが、プライベートで何度か沖縄を訪れたことがあり、将来ここで仕事が出来たらいいなと思っております。そんな中、ふとした縁がきっかけで、沖縄県宮古島のリゾートホテルを購入することになりました。その後、沖縄本島北部の今帰仁村に琉球古民家風のリゾートホテルのオープンや、宮古島の観光クルーズ船なども購入、



伊良部島にホテルの建設予定など、今では沖縄開発事業として当社でも重要な事業のひとつになっており、念願だった沖縄進出の夢が叶いました。沖縄は国内外からの観光客の増加などもあり、宿泊施設の建設を中心に建設業が好調です。好景気に沸く元気な姿を見て、正直衝撃を受けました。東北では震災復興需要が落ち着き、地域によっては人余りの時期になっております。雇用を守るために、元気な地域との連携は不可欠と考えております。また、沖縄のために、私たちの技術や経営資源が役に立つのなら喜んで力になりたいと思っております。

最後になりますが、地元の仙台も、もつと元気になってもらいたいと考えております。まずは、お客様に元気になっていただかないと、我々建設業は始まりません。どうしたら仙台・宮城・東北地方が元気になるかを常に考え、地域にとって「本当に必要とされる企業」を目指して、さまざまな活動を精力的に行つて地元を元気にしていきたいと思っております。



株式会社 深松組 代表取締役社長 深松 努さん

〒981-0931 宮城県仙台市青葉区北山1-2-15 TEL 022-271-9211

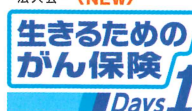
◆この記事は、各支部長の推薦により掲載しております。掲載を希望される方は各支部長又は事務局に申し出てください、支部長の推薦により決定いたします。

アフラックは「がん保険」も「医療保険」も選ばれて契約件数No.1*

※平成29年版「インシュアランス生命保険統計」より

- 法人会 - NEW

- 法人会 -



■引受保険会社(お問い合わせ先)

Affac アフラック

仙台総合支社
〒980-6122 仙台市青葉区中央1-3-1 アエル22階
法人会 ☎0120-876-505